

I. 大会について

1.各大会

(1)東京都高等学校対抗大会 兼 関東高等学校柔道大会東京都予選会

男子団体の部 東京都代表 9校

女子団体の部 東京都代表 7校

(2)東京都高等学校選手権大会 兼 関東高等学校柔道大会東京都予選会 兼 東京都ジュニア体重別選手権大会推薦選手選考会(55kg 級のみ実施)

男子個人の部(無差別級) 東京都代表 2名

男子個人の部(55kg 級) 高体連推薦 8名

(3)東京都高等学校女子体重別大会 兼 関東高等学校柔道大会東京都予選会

女子個人の部 東京都代表各階級 2名

(4)東京都高等学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会柔道競技大会東京都予選会

男子団体の部 東京都代表 2校

女子団体の部 東京都代表 1校

男子個人の部 東京都代表各階級 1名

女子個人の部 東京都代表各階級 1名

(5)東京都高等学校学年別大会

男子団体の部

女子個人の部

(6)東京都高等学校新人大会 兼 全国高等学校柔道選手権大会東京都予選会

男子団体の部 東京都代表 2校(前年度全国大会の実績により 4校まで出場可)

男子個人の部 東京都代表各階級 1名

女子個人の部 東京都代表各階級 1名

(7)東京都高等学校女子団体柔道大会 兼 全国高等学校柔道選手権大会東京都予選会

女子団体の部 東京都代表 1校(前年度全国大会の実績により 2校まで出場可)

(8)その他

国民体育大会東京都予選会(東京都柔道連盟主催)

※出場資格

①前年度全国高等学校柔道選手権大会

男子 : 団体の部出場選手

個人の部ベスト 8 (60kg・81kg・90kg)・ベスト 16(73kg・無差別)

女子 : 団体の部出場選手、個人の部ベスト 4

②当年度関東高等学校柔道大会東京都予選会

男子 : 個人の部ベスト 16

女子 : 個人の部各階級ベスト 4

③当年度全国高等学校総合体育大会柔道競技大会東京都予選会

男子 : 団体の部優勝・準優勝、個人の部各階級ベスト 8

女子 : 団体の部優勝、個人の部各階級ベスト 4

東京都ジュニア柔道体重別選手権大会(東京都柔道連盟主催)

※出場資格

男子 : 上記国民体育大会東京都予選会の出場資格と同じ

男子(55kg 級のみ) : 推薦選手選考会を行い、上位 8名を推薦する

女子 : 有段者

2.支部予選会

各支部は下記大会の予選を行い、次の基準に従って都大会出場校(選手)を推薦するものとする。会場その他の事情でこの基準を適用できない場合は、常任委員会の承認を得て推薦しなければならない。

a. 男子団体の部

(1)東京都高等学校対抗大会 兼 関東高等学校柔道大会東京都予選会

編成 : 監督1名、正選手5名(軽量級3名・重量級2名)、補欠2名(軽量級1名・重量級1名)=合計8名

代表数 : 各支部12校とする。3位決定戦を行う。

推薦 : 前年度都大会上位4校は支部予選を免除する。

(2)東京都高等学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会柔道競技大会東京都予選会

編成 : 監督1名、正選手5名、補欠1名=合計7名

代表数 : 各支部12校とする。3位決定戦を行う。

推薦 : 前年度都大会上位4校は支部予選を免除する。

(3)東京都高等学校学年別大会

編成 : 監督1名、選手5名=合計6名

代表数 : 1学年及び2学年の部は各支部12校とする。3位決定戦を行う。
3学年の部はオープン参加とする。

推薦 : 1学年及び2学年の部において、前年度都大会1学年の部上位4校は支部予選を免除する。

(4)東京都高等学校新人大大会 兼 全国高等学校柔道選手権大会東京都予選会

編成 : 監督1名、正選手6名=合計7名

代表数 : 各支部12校とする。3位決定戦を行う。

推薦 : 前年度都大会上位4校は支部予選を免除する。

b. 女子団体の部

(1)東京都高等学校対抗大会 兼 関東高等学校柔道大会東京都予選会

編成 : 監督1名、正選手3名(軽量級2名・重量級1名)、補欠2名(軽量級1名・重量級1名)=合計6名

代表数 : 各支部6校とする。3位決定戦を行う。

推薦 : 前年度都大会上位4校は支部予選を免除する。

(2)東京都高等学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会柔道競技大会東京都予選会

編成 : 監督1名、正選手3名、補欠1名=合計5名

代表数 : 各支部6校とする。3位決定戦を行う。

推薦 : 前年度都大会上位4校は支部予選を免除する。

(3)東京都高等学校新人大大会 兼 全国高等学校柔道選手権大会東京都予選会

編成 : 監督1名、正選手3名(先鋒52kg以下・中堅63kg以下・大将無差別)、補欠2名=合計6名

代表数 : 各支部6校とする。3位決定戦を行う。

推薦 : 前年度都大会上位4校は支部予選を免除する。

c. 男子個人の部

(1)東京都高等学校選手権大会 兼 関東高等学校柔道大会東京都予選会 兼 東京都ジュニア体重別選手権大会推薦選手選考会(55kg級のみ実施)

代表数 : 各支部12名とする。但し、同一校からは2名以内とする。

(2)東京都高等学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会柔道競技大会東京都予選会

代表数 : 各支部12名とする。但し、同一校からは各階級2名以内とする。

(3)東京都高等学校新人大大会 兼 全国高等学校柔道選手権大会東京都予選会

代表数 : 各支部12名とする。但し、同一校からは各階級2名以内とする。

d. 女子個人の部

(1)東京都高等学校女子体重別大会 兼 関東高等学校柔道大会東京都予選会

- 代表数 : 各支部階級毎に6名とする。但し、同一校からは各階級2名以内とする。
- (2) 東京都高等学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会柔道競技大会東京都予選会
代表数 : オープン参加とする。但し、同一校からは各階級2名以内とする。
- (3) 東京都高等学校学年別大会
代表数 : オープン参加とする。同一校からの出場制限も設けない。
- (4) 東京都高等学校新人大会 兼 全国高等学校柔道選手権大会東京都予選会
代表数 : 各支部階級毎に6名とする。但し、同一校からは各階級2名以内とする。

3.参加出場資格について

(1) 所属学校長の承認(申込書に学校長印のないものは認めない)

選手は、所属学校長の参加承認を得ており健康上その他の支障がない者とする。

(2) 加盟・登録

選手は、東京都高等学校体育連盟柔道部及び全日本柔道連盟に加盟・登録している者とする。

(3) 年齢制限について

高等学校の生徒で、平成23年4月2日を起算として満19歳未満であること。但し、同一学年での出場は、1回限りとする。

(4) 引率・監督について

①引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は、校長の認める学校の職員とする。

②監督は、校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

(ア) 当該校職員：校長、教頭・副校長、講師、非常勤嘱託員ほか、学校教育法第50条に準ずる。(非常勤嘱託員は地方公務員法第3条に身分記載)

(イ) 引率責任：法的措置、事故発生と賠償責任、生活指導

(ウ) 指導者の規定(次の2つとする)

●当該校の職員：(ア)に同じ

●外部指導者：非常勤講師、スポーツクラブ指導者、社会体育指導者、当該校の卒業生・保護者等で校長の認めた者とする。

(5) 中途転入者について

当該学校に6ヶ月以上在籍した者でなければならない。但し、特別な事情で申請があり、常任委員会で認められた場合はこの限りではない。

(6) チーム編成について

①チームの編成が1校単位で、且つ全日制課程と定時制課程の混成は認めない。

②同一学園であっても、文部科学省への学校登録が異なる場合は、別個のチーム編成とする。

③男子団体戦に出場するチームは3名以上とする。但し、東京都高等学校学年別大会は2名以上でも可とする。

(7) 選手変更・補欠の補充について

①正選手に登録した選手が、事故・病気等やむを得ない事情で大会に出場できない場合は、その位置に登録の補欠を補充する。

②補欠の選手が同じ理由の場合には、その位置に補充する。

③補充した補欠の代わりについては、大会の開会式開始までに所属長ならびに引率責任者の印を押した書面をもって大会委員長に届け出る。

4.失格規定について

(1)引率者の件

①引率は、責任教諭および監督(所属長が認めた教職員)とする。それ以外の引率者は所属長の委任状を必要とする。緊急な事故により引率者が引率できず、代行の委任状が所属長より取れない場合は、電話連絡等で対応することとする。但し、この件に関しては大会本部において特別に審議し決定する。

②引率者は、各大会の受付終了時間までに選手を同行し、入場することとする。それ以後の入場は認めない。但し、電車等の遅延連絡のあった場合のみ大会本部で特別に審議する。

連絡先 講道館防災管理センター TEL03-3818-4893

(2)オーダーミスの件

①試合途中(団体の始まりの合図から終わりの合図)で発覚した場合。

試合実施の有無にかかわらず、オーダーの順番を誤った選手を失格とする。

②試合途中(団体の終わりの合図の後、選手全員が試合場から退場するまでの時間)で発覚した場合。

誤って試合をした選手とそれに伴って変更した選手については負けとし、オーダーをもとに戻して結果を判定する。

③試合後(選手全員が試合場から退場した後)で発覚した場合。

国際柔道連盟試合審判規定第 19 条の通り、指示または宣言した決定の訂正はできない。但し、今後の指導については、常任委員会で検討する。

④故意にオーダーを変更した場合。

そのチームを負けとし、今後の指導については、常任委員会で検討する。

⑤東京都高等学校新人大会 兼 全国高等学校柔道選手権大会東京都予選会の場合。

上記①②が発覚した場合は、試合実施の有無にかかわらず、そのチームを失格とする。試合後については③に準ずる。

(3)服装の件に関して

規定に違反があった場合、当該選手は失格とする。(ゼッケンなど)

5.大会参加費について

(1)大会参加費

男子団体の部 : 1 チーム 8,000 円 (都大会出場決定後、別途 2,000 円納入)

女子団体の部 : 1 チーム 5,000 円 (都大会出場決定後、別途 1,000 円納入)

男女個人の部 : 1 名 1,500 円 (都大会出場決定後、別途 500 円納入)

(2)納入方法

参加費は支部予選申込みの際に納入する。各支部は都大会組合せ当日、本部に出場校(選手)数分の参加費を納入する。都大会オープン参加の申込み・参加費納入についても必ず支部を経由する。

(3)支部独自の大会の参加費について

参加選手(補欠を含む)1名につき、2,000円を超えない範囲で行う。

6.応急処置について

選手の試合による直接の事故での傷害については、応急処置を施すものとする。

7.傷害保険について

参加選手は全員傷害保険に加入するものとする。支部大会は各支部で、都大会は大会本部の指示に従うものとする。なお、保険料は大会参加費に含まれる。

8.表彰について

(1)東京都高等学校対抗大会 兼 関東高等学校柔道大会東京都予選会

※高体連柔道部杯持ち回り、前年度優勝校へレプリカ授与

優勝 : 賞状・楯 1校
準優勝 : 賞状・楯 1校
第3位 : 賞状・楯 2校
第5位 : 賞状 4校

(2)東京都高等学校選手権大会 兼 関東高等学校柔道大会東京都予選会 兼 東京都ジュニア体重別選手権大会推薦選手選考会(55kg級のみ実施)

優勝 : 賞状・メダル 1名
準優勝 : 賞状・メダル 1名
第3位 : 賞状・メダル 2名
第5位 : 賞状 4名

(3)東京都高等学校女子体重別大会 兼 関東高等学校柔道大会東京都予選会

優勝 : 賞状・メダル 1名
準優勝 : 賞状・メダル 1名
第3位 : 賞状・メダル 2名
第5位 : 賞状 4名 (参加人数により変更する場合あり)

(4)東京都高等学校総合体育大会 兼 全国高等学校総合体育大会柔道競技大会

【男子団体の部・女子団体の部】

※東京都高体連杯ならびに高体連柔道部杯持ち回り、前年度優勝校へレプリカ授与

優勝 : 賞状・楯・メダル 1校
準優勝 : 賞状・楯・メダル 1校
第3位 : 賞状・楯・メダル 2校
第5位 : 賞状 4校

【男子個人の部・女子個人の部】

優勝 : 賞状・メダル 1名
準優勝 : 賞状・メダル 1名
第3位 : 賞状・メダル 2名
第5位 : 賞状 4名 (参加人数により変更する場合あり)

(5)東京都高等学校学年別大会

【男子団体の部】

※高体連柔道部杯持ち回り、前年度優勝校へレプリカ授与

優勝 : 賞状・楯 1校
準優勝 : 賞状・楯 1校
第3位 : 賞状・楯 2校
第5位 : 賞状 4校

【女子個人の部】

優勝 : 賞状・メダル 1名
準優勝 : 賞状・メダル 1名
第3位 : 賞状・メダル 2名
第5位 : 賞状 4名 (参加人数により変更する場合あり)

(6)東京都高等学校新人大会 兼 全国高等学校柔道選手権大会東京都予選会

※高体連柔道部杯持ち回り、前年度優勝校へレプリカ授与

優勝 : 賞状・楯 1校
準優勝 : 賞状・楯 1校
第3位 : 賞状・楯 2校

第5位 : 賞状 4校

(但し、第3・4代表決定戦を行う場合、決定戦の結果により表彰する)

(7)東京都高等学校女子団体柔道大会 兼 全国高等学校柔道選手権大会東京都予選会

※高体連柔道部杯持ち回り、前年度優勝校へレプリカ授与

優勝 : 賞状・楯 1校

準優勝 : 賞状・楯 1校

第3位 : 賞状・楯 2校

第5位 : 賞状 4校